

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

2005

1

NO.598

賀正



2005

迎春



新年明けましておめでとうござい
ます。2005年、平成十七年が皆様にと
つて素晴らしい年になりますように心か
らご祈念申し上げます。

昨年は日本中が自然災害に見舞われ、
大難儀をしました。台風が十一個も上陸
し、15号では秋田県沿岸地方にも塩害と
いう大きな後遺症を残したことです。

新潟県の中越地震も観測史上初めてと
いう震度7の大地震でした。豪雪地帯と
しても知られる被災地の皆さんの難儀を
思うとき、本当にやり切れない気持ちで
いっぱいになります。私たちはこの大自
然の中で、良い意味でも悪い意味でも生
かされているということを改めて実感し
た年でもありました。

八月には合併協定調印式が行われまし
た。四十六項目にも及ぶ合併協定書に、

新年を迎えて

東由利町長 阿部 幸悦

一市七町の各市町長が署名。町議会の議
決を経て県に廃置分合の申請をし、十月
二十八日には総務省告示が出され、いよ
いよ今年三月二十二日には「由利本荘市」
として出発することになります。昨年は
合併を強く意識した一年でもありまし
た。

四月には、蔵・法内地区の排水処理施
設、横渡処理場が完成し、蔵・法内地区
の下水道も通水することができました。

六月には、八塩いこいの森の県植樹祭
の桜植栽地に増設したパークゴルフ場が
オープンしました。今年秋の東北大会、
そして平成十九年に開催される「秋田わ
か杉国体」の準備もできたことです。

九月には岩館バイパスも開通し、長年
の懸案だった県道神岡・南外・東由利線
の整備ができました。

十月には平成十一年の県植樹祭以来毎
年続けてきた町植樹祭を、私たちの大き
な宝物の一つである水源「ボツメキ」の
地で開催しました。町内外のボツメキフ
アンと一緒にブナを植えることにより、
閉町記念行事にもさせてもらいました。

十一月には町功労者表彰式・合同竣工
式を開催し、その節に三百人を越えるお

客様に東由利町の新たな出発を宣言する
閉町記念式も執り行いました。東由利の
五十年に心から感謝をし、これから始ま
る「由利本荘市」に心からのエールを送
ったことです。

十二月には、東光苑ショートステイ八
床の増設工事竣工のテープカットを行う
ことができました。これは、今年六月に
竣工する生活支援ハウスと共に懸案の施
設整備でしたが、合併前の竣工に間に合
ったことです。

十三回を数える「高橋宏幸賞童話秋田
県コンクール」も我が町の財産の一つで
すが、これも由利本荘市のコンクールと
して継続されることです。発足以来審査
に当たって頂きました、佐々木良三先生
始め先生方に心から感謝を申し上げます、こ
れからのこともお願い致しました。

東中野球部も二十一年振りの県大会出
場という大活躍を見せてくれました。
大忙しではありましたが充実した平成
十六年でした。

今年は新市が発足する記念の年にもな
ります。東由利がますます「明るく元気
」になりますように心から祈念して年頭
のごあいさつに致します。

2004

東由利町の 主な出来事

平成16年の町の出来事を振り返ります。



6/27
八塩いこいの森パークゴルフ場
新設18ホールオープン

既存の2コースに加え、「きざくらコース」と「やまぶきコース」がオープン。10月には、国際パークゴルフ協会の公認コースとして認定されました。



4/16
蔵・法内地区農業集落
排水処理施設通水式

同処理施設の計画処理戸数は、蔵・法内地区の約300戸。式では関係者約50人が通水を祝いました。



9/10
岩館バイパス開通式

地元住民も参加してのパレードが行われました。着工は平成9年、総事業費は約11億200万円。



8/17
合併協定調印式

8首長と特別立会人の寺田県知事が46項目の協定書に署名。翌日の臨時議会では、賛成多数で合併議案が可決されました。



7/13
町議会議員選挙告示

現職13人と新人1人が無投票で当選。町議選の無投票は、昭和47年以来のこと。



11/5
町功労者表彰式・閉町
式並びに合同竣工式

本荘由利1市10町の首長・議長ら約300人が出席。この式典に先がけて、役場前では閉町記念モニュメントの除幕式が行われました。



10/20
23
閉町記念「2004
町植樹祭」

小中学生がいこいの森駐車場にアジサイなど約450本を植樹(20日)、一般の部ではボツメキ水源地に約760本のブナを植樹(23日)。



9/20
合併記念「東由利民謡
の祭典」

本町出身の浅野和子さん、梅若梅清さんらが出演。力強い歌声が約600人の観客を魅了しました。

その他の出来事

- 1月 消防出初め式(4日)
- 新春町政座談会(5~11日)
- 2月 雪ものがたり2004(14、15日)
- 2004雪上野球W杯東由利大会(22日)

- 8月 町消防訓練大会(25日)
- 東中野球部県大会出場(27日)
- 「東由利町共通商品券」発行(1日)
- 中学生海外研修(11~19日)
- 成人式(15日)
- 町臨時議会で合併議案可決(18日)
- 町戦没者追悼式(20日)

- 3月 早春やしお元気まつり(5日)
- スポーツ賞・芸術文化賞表彰式(6日)
- 雪山八塩登山(14日)

- 9月 全県野焼きを楽しむつどい(14日)
- 合同金婚式(17日)
- 10月 第20回ひがしゆり音楽祭(24日)

- 4月 農業委員会一般選挙告示(19日)
- 自治会長会議(22日)
- 5月 黄桜まつり(8、9日)
- 東京東由利会(16日)
- 秋田「東由利を語る会」(21日)

- 秋まつり2004(30、31日)
- やしお紅葉まつり(30日~11月3日)
- 高瀬小学校創立20周年記念式典(28日)
- 社会人秋季マラソン野球大会(24日)

- 6月 敬老会・70歳を祝う会(18日)
- 第49回町畜産共進会(19日)
- 7月 第1回黄桜カップパークゴルフ大会(4日)
- 第46回社会人野球大会(15、16日)

- 11月 フランス鴨&ワインパーティー(20日)
- 12月 ショートステイ開所式(9日)
- 高橋宏幸賞童話秋田県コンクール表彰式(19日)

議会12月定例会

ふるさと出合いの森事業を解消

町議会十二月定例会が十二月十四日から十六日までの会期で開かれ、平成十六年度一般会計補正予算を含む十三議案を原案どおり可決しました。

行政報告（二部抜粋）

【町民福祉課】

●町健康福祉大会

社会福祉協議会と共催で九月十日に開催

●火災

九月二十四日、境内内で非住宅火災が発生。出火原因は現在調査中。

●防災訓練

十一月七日に老方地区で実施。消防団、地元婦人消防隊、地域住民ら約二百人が参加。

【特別養護老人ホーム東光苑】

●施設利用状況（十一月末現在）

施設の入退所者数はそれぞれ十一人。ショートステイの延べ利用者は二千八百三十五人で、一日平均十一・六人。デイ

サービスの延べ利用者数は、三千七百七十五人で、一日平均十八・一人と前年同期より百八十六人の増

●ショートステイ開所式

十二月九日に行い、翌日から利用者の受け入れを開始。

【産業課】

●稲作

十一月末現在の販売実績は、数量が九万二千百九十三袋（前年比三千二百八十六袋の増）、販売金額が五億七千八百十四万円（前年比一億八千三百三十六万円の減）。販売金額が大きく減少した原因は、仮渡金の大幅な下落。

●水田農業構造改革交付金

新しい米政策の一年目としては、現場の混乱もなく進められたと考えている。来年度は、産地づくり交付金の単価見直し

可決された議案

◇ふるさと出合いの森設定条例を廃止する条例の制定

例を廃止する条例の制定

◇ふるさと出合いの森特別町民条例を廃止する条例の制定

◇ふるさと出合いの森事業基金条例を廃止する条例の制定

いずれも事業の解消に伴い、関係条例を廃止するもの。

◇町中小企業振興基金条例を廃止する条例の制定

一市七町合併協議の事務事業のすり合わせにおいて、資金の直接預託廃止に伴い、基金条例を廃止するもの。

◇町簡易給水施設設置条例の制定

大台・杉森・新沢・沼・高村・黒沢の六地区簡易給水施設の管理を、管理組合に委託することを基本とした条例を制定するもの。

◇本荘由利広域市町村圏組合に関する規約の変更

一市七町の合併に伴う、構成団体名及び構成数の変更によるもの。

◇本荘由利広域市町村圏組合の共同処理事務の変更に伴う財産処分

ゴミ処理事業・情報処理事業が新市の直轄事業となることから、ゴミ処理施設の財産を由利本荘市に帰属させるもの。

◇一般会計補正予算

三千二百二十六万九千円を追加し、予算総額を四十三億九千二百三十九万一千円としたもの。

◇歳出予算追加の主な内容は▼新市庁舎整備事業負担金二百三十万九千円▼地方バス路線維持費補助金四百四十八万六千円▼葉たばこ乾燥施設台風被害対策事業補助金百二万円。

◇国民健康保険事業勘定特別会計補正予算

九百五十五万八千円を追加し、予算総額を五億三千三百七十三万三千円としたもの。歳出予算追加の主な内容は▼療養給付費八百八十八万一千円。

◇老人保健医療事業特別会計補正予算

医療給付費などの精算見込みにより、七千四百万円を減額し、予算総額を六億九千九百五十八万七千円としたもの。

◇簡易水道事業特別会計補正予算

四十七万二千円を追加し、予算総額を二億三千二百三十三万四千円としたもの。歳出予算追加の内容は、督促手数料システムの変更に伴う負担金など。

◇農業集落排水事業特別会計補正予算

処理場維持費と緊急単独事業費の精算見込みにより、一千七百二十八万六千円を減額し、予算総額を四億六千三百三十九万四千円としたもの。

◇特別養護老人ホーム東光苑特別会計補正予算

サービス収入・繰入金の精算見込みにより、二千二百七十一万円を追加し、予算総額を五億五千二百二十万九千円としたもの。

などの微調整のほか、集落営農の本格的な推進を図りたい。

県に配分された来年度の生産目標数量は、今年度より〇・五 多い五十万二千六百七十

●台風被害対策

最も被害が大きかったのは、ビニールハウスの損傷。県の戦略作物再生対策事業に、十三農家から二十五棟のハウス再建の要望が出ている。補助率は県一〇に、町が一〇の嵩上げ

を考えている。

資金対策については、十一月十九日に周知チラシを配布。二月十日に貸付実行を予定している。償還期間は六年以内。農家負担が無利子になるように、一市七町、県、JAが足並みをそろえて利子助成を実施する。

●中山間地域直接支払

対象面積は、昨年より一・二七 少ない九百八十一・六 余り。交付金は、前年度より十萬九千円少ない一億八百十

二萬九千円。一月下旬から二月上旬に交付する予定。

平成十七年度

は、制度は継続される見通しであるものの、仕組みや交付金単価の改正はあると思う。

●畑作

野菜類の十一月末までの総販売金額は五千二百七十八萬九千円で、前年比四百三十六萬二千円の減。

葉たばこは、台風によるハウスの損傷で濡損葉が出ており、品質低下

による買い入れ単価の低下を心配している。

●畜産

肉用牛の四月から十二月までの販売頭数は四百十六頭で、昨年より二十三頭少ないが、販売金額は昨年より一千六百五十五萬七千円多い二億四百七十五萬五千円。子牛市場は高値が続いており、十二月までの平均価格は四十九萬二千円。

生乳の四月から十二月までの販売数量は三百九十九、販売金額は三千八百七十七萬九千円で、ともに前年比九〇の実績。

●土地改良事業

土地改良施設維持管理適正化事業（ポンプの更新）は、契約更新した一部を残して三地区・四個所が完了。

大台地区簡易給水施設は、計画どおり十一月三十日までで工事が完了。

八塩前平登山道整備は、登山道と駐車場が十二月始めまでに完了しており、十二月十五日の工期までに看板の取り付けを行い、今年度分の工事が完了する。

●林業

造林事業の実績は、枝打ち三十九・二、保育間伐三十

三・六。

県営作業道開設工事は、牧山線、高森線ともに今年度分の工事が完了。高森線は幹線は今年度で完了したが、支線二路線の整備を十七年度事業として県にお願いしている。

森林整備地域活動支援交付金は、対象面積が前年度より十一・九五 多く、交付金は一千六百五十二萬円余りとなる見通し。

【建設課】

●国道一〇七号

板戸第二工区については、十一月二十五日にトンネル工事の進め方について板戸集落を対象に説明会を開催。現在、板戸側からの掘削準備工事を行っており、年明けには発破工法による掘削工事が進められる予定。四月頃には貫通する予定と説明を受けている。

板戸第三工区は現在、白滝橋の橋台部が完成し護岸工を実施。稲荷橋も鉄筋組み立てが完了し確認を受け次第にコンクリート打設になると聞いている。

●神岡南外東由利線

引き続き野田地内の急カーブ個所の改良準備を進め、三月には工事が発注される予定。

●黒沢トンネル

十一月二十日に出入り口付近の用地立会を行い、二月末の工事発注に向けて準備中。

●仁賀保矢島館合線

今年度分は東由利管内の未舗装三十 を残して完了。

●町道新田線

十一月二十四日に用地説明会を開催。今後は、一部橋梁前後の高盛土個所への暫定盛土及び畦畔築立工事を行う。

●その他町道

西ノ浜線、野田会館への道路、大吹川の道路整備についても順調に進んでいる。

●林道蒲台線

今年度の事業費は五千萬円で、工期は七月二十六日から三月十日まで。

●林道土場沢線

今年度分の工期は八月二十日から十二月二十日まで。全体の完成は平成十八年度を予定している。

●災害

融雪・豪雨合わせて二十三個所の発注を終了し、二月末までの工期で工事準備中。

●水道事業

蔵地内及び須郷田・館合地内の給水管切替工事を施工。橋梁添架の工事箇所（十二ノ前



▲台風の被害を受けたビニールハウス

を積算準備中。二月末を工期として発注予定。

●農業集落排水整備事業

桂台、野田の管路工二件、マンホールポンプ二件が完了。岩館地内二件の管路工事をももたなく完了し、検査を予定。年明けには申込受付を開始できると考えている。十二月八日現在の加入率は一一・八五。

●合併処理浄化槽

十基分の整備が進められ、九基の設置が完了。

【総務課】

●町功労者表彰式・合同竣工式・閉町式

記念モノメントの除幕を含め、十一月五日に一連の行事

を実施。およそ三百人が出席

【企画課】

●一市七町合併協議

十一月二十一日から十二月七日まで、町内七会場で「合併協議住民説明会」を開催。

「特別職の報酬」「地域審議会又は地域自治区の設置」については、小委員会で協議中。「指定金融機関の選定」については、市町長会議で議論している。

●「湯楽里」大規模改修工事

計画どおり十月二十五日に完了し、翌二十六日に浴室がリニューアルオープン。エレベーター新設、照明器具の取り替え「お食事処やしお」のトイレ増

築なども行い、利用者から好評を得ている。

●八塩いこいの森

十一月七日で今年の営業を終了。各施設の有料延べ利用者数は一万三千四百十八人で、昨年より二千三百六十四人の増。

パークゴルフ場は、昨年増設された十八ホールの芝生養生を待つて、六月二十七日に営業を開始。新たにシーズン券を発行したこともあり、今シーズンの延べ利用者数は昨年比三千五十



▲「湯楽里」に新設されたエレベーター

十月二十九日に実施。同校の今後の飛躍を願う。

●第十二回町音楽祭

十月二十四日に開催。合併後も継続していきたいと考えている。

●高橋宏幸賞童話秋田県コンクール

応募状況は、感想文が九十三点、感想画が二千九百九十六点。十一月二十六日に審査を終え、上位入賞者を町ホームページで紹介。

●小松耕輔生誕百二十年記念講演会

県立博物館名誉館長の新野直吉先生を講師に招き、十一月十八日に開催

【教育文化課】 ●高瀬小創立二十周年記念式典

状では利用者はいない。

問 職員の精神面の健康管理は。

答 毎年、共済組合の助成を得て、基本健診・人間ドックを実施している。職員のメンタルケアについては、これまでどおり十分関心をはらっていききたい。

問 西ノ浜から島の歩道を自転車が違反走行している

ことについて、歩道を自転車が通行できるという公安委員会の意思決定は法律を超えるものなのか。

答 自転車でも、通行可の指定を受けている歩道であれば通行しても良いと法律にもある。また、県公安委員会からは国道一〇七号の歩道については自転車でも通行しても良いことになっているとの説明を受けた。

問 職務権限による住所の抹消等はあるような手続きで行われるのか。

答 住民票の削除・修正は、実態調査をもとに慎重に行われている。また、いずれも職権記載書を作成し、決裁後処理するものと定められている。

長沼久利議員

問 合併の基本方針「協働のまちづくり」の具体策は。

一般質問（二部）

小松勘一郎議員

問 学童保育の今後の方向は。

答 永慶学童クラブは、当面園内で実施していくとの意向を得ている。みどり学童クラブは、児童増加により十二月から館合共催団の集会所施設で

問 路線バスのない地域の幼児、高校生にもスクールバスの利用を広がってはどうか。

答 幼児、高校生もスクールバスの利用はできる。園児の保護者には周知も行っている。しかし、運行時間が通学時間と合わないことなどから、現

町民生児童委員辞令交付式

新しい民生児童委員決まる

町民生児童委員の辞令交付式が、十二月七日に役場で行われ、五人の新委員を含む二十二人に厚生労働大臣からの委嘱状が阿部幸悦町長より手渡されました。

このたびの任期満了に伴い退任されたのは、高橋隆男さん（下小路、佐藤千鶴子さん（館西、高橋時郎さん（久保、長谷山洋子さん（上通、遠藤真吉さん（新処）、大日向イサさん（大琴）の六人で、これまで困っている方々の援助や指導に当たってこられました。



小松 和子さん
(山崎)



佐藤 操さん
(八日町)



佐々木輝男さん
(大琴)



遠藤喜恵子さん
(新処)



畠山 紀子さん
(横小路)

新しい民生児童委員は次の方々です。

困りごとはお気軽にご相談を

○民生児童委員（敬称略）

氏 名	担 当 自 治 会	電話番号
小松 惣一	智者鶴、向田、泡ノ瀨	2186
畠山 清子	黒瀨、葦沢、地下ノ沢	3353
佐藤 貢	田代、石高、時雨山	3622
畠山 楸	袖山、大吹川、須郷	2268
高橋 誠	下小屋、高戸屋、須郷田、新田	3302
佐藤 操	下小路、八日町、家ノ下	2055
小松 和子	館西、宇戸坂、新沢、五海保	3977
小松 良一	山崎、松柴、板戸、久保	2936
佐藤 守	祝沢、茂沢、湯出野、寺田	3282
佐藤 陽子	中通、下通	3027
畠山 紀子	上里、横小路、上通	3188
千葉 安子	新町	2255
石渡 力造	蔵新田、島、宮ノ前	3451
阿部タツ子	岩館、蔵	2567
遠藤喜恵子	新処、野田、十二ノ前	2554
遠藤 正明	桂台、小倉、中ノ沢、高村	2591
千葉 康平	横渡、黒沢、大台	3669
佐々木輝男	大琴	3455
小野 清幸	宿、下吹、土場沢、高屋	3965
小松 篤	船木、畑村、杉森、沼、奥ヶ沢	3659

○主任児童委員（敬称略）

氏 名	担 当 自 治 会	電話番号
青木 榮子	町内全域	3340
八嶋 シゲ	町内全域	3135

問 「協働」とは住民と行政がそれぞれの役割を担いつつ、協力して働くこと。それを推進するための施策としては、住民の意見の吸い上げ、地域振興基金の設置、住民自治組織への行政事務委託、ボランティアやNPOの育成支援などがある。

問 グリーンツーリズムの推進について考えを伺う。

答 町としてもできる支援は

していきたいが、利益に結びつけることも視野に入れながら自分たちでできる活動を続けてほしい。

問 「次世代育成支援対策推進法」に基づく行動計画策定の推移と現状は。

答 平成十七年三月の施行に向け、一市七町が一体となつて行動計画を策定する。その際に各市町が持ち寄る素案は策定済み。

問 「あきた教育新時代の創成プログラム」がこの地域に与える影響は。

答 直接の影響は人事評価の施行。しかし、今後六年間のうちに大きな変化はないと考える。

小野 健 議員

問 「みどりのアジアEPA推進戦略」に対する考えを伺う。

答 JAグループと同じ認識

日本農業の現状は心配だ。それぞれの国益が絡み合い難しいことだが、先進国である日本が指導していけるのではないかと考える。良い枠組みをつくってもらいたい。

問 高校生の遠距離通学に対する支援を。

答 適切な支援を考え検討してきたが、合併後は奨学資金としてまとまていくと思う。

問 交付税の大幅削減や公債費増加により、合併後の財政的危機は免れないのではないかと。

答 合併による人件費削減などの効果も想定できる。現時点の数字だけでは判断できないと考える。

問 日本歯科医師連盟と旧橋本派のヤミ献金問題について考えを伺う。

答 裁判の行方を見守りたい。

第21回本荘由利一市七町合併協議会

市町単位に自治区設置

— 議員・農委報酬は現行 —



▲議員等の報酬を決めた合併協議会

また、地域自治区に
行ったりします。

各地域に常勤 特別職を配置

地域自治区・地域審議会の
小委員会では、「合併後、各地

域の実情や課題を新市に訴える
ためには地域自治区を設置し、
区長を置き、課題を訴えるべき
との意見が多数を占めたことか
ら、「地方自治法による地域自

治区の設置」が今協
会に報告され、確認さ
れたものです。

地域自治区には、
常勤特別職の区長が置
かれ、任期は二年。地
域自治区内の事情を十
分に把握し、また、優

れた見識を有する者の
内から、市長が任命し
ます。区長は、地域自
治区を代表し、その地
域の均衡ある発展のた

め、市長に助言・意見
具申したりするほか、
関係自治区との協議を
行ったりします。

第二十一回本荘由利一市七町合併協議会が十二月二十三
日、本荘市の「本荘由利広域交流センター」で開催され、
合併後に地域の意見を市政に反映させるための組織として
各市町に地域自治区を設置することについて確認されたほ
か、在任特別期間の議員・農業委員の報酬を現行どおりと
するなどとした主な特別職の報酬額が確認されました。
今回の協議をもって、主な確認事項は終了。今後は組
織・機構の細部段階となる職員配置や条例・規則など新市
発足に向けた事務レベルでの協議が続けられます。

特別職の給料・報酬額

(単位：円)

区分		由利本荘市	東由利町
首長	月額	955,000	805,000
助役	月額	754,000	610,000
収入役	月額	681,000	570,000
教育長	月額	670,000	540,000
企業管理者	月額	652,000	
議会	議長	月額	273,000
	副議長	月額	233,000
	議員	現在の報酬額	218,000
教育委員会	委員長	月額	23,000
	委員	月額	17,900
選挙管理委員会	委員長	月額	15,600
	委員	月額	14,300
監査委員	見識者	月額	22,000
	議会選出	月額	19,000
農業委員会	会長	月額	25,600
	長の代行	月額	30,000
	委員	現在の報酬額	20,500
固定資産評価審査委員	月額	6,500	6,100

三役等報酬は 本荘市と同額

には「地域協議会」が設置され
ます。委員は区域内に住所を有
する①町内会等の代表②公共的
団体の代表者③学識経験者の中
から市長が選任(六十人以内)
します。地域協議会は、市や地
域自治区の事務所が処理する事
項やその区域住民との連携強化
施策の諮問に答申したり、意見
を述べたりすることができま
す。また、新市まちづくり計画
や基本構想などの重要事項の決
定に当たっては、地域協議会の
意見を聴かなければならないこ
とが義務づけられています。

特別職の報酬は、前回の協
議会小委員会を設置すること
が確認され、四役や議会議員・
農業委員などの報酬が協議され

「現在の総額を超えるべきでは
ない」などの意見が出され、挙
手採決の結果、「現行通り」と
確認されました。今回確認され
た特別職の報酬額は次の通りで
す。

その結果、市長・助役・収
入役の三役をはじめ、教育長・
企業管理者・教育委員・選挙管
理委員・監査委員は本荘市と同
額にするべきと報告されました。
一方、議会議員・農業委員
の報酬については、①現行通り
②本荘市を現行通りとし、七町
を一元化等の意見があり、小委
員会では結論を出せなかったこ
とが報告され、協議会で協議さ
れました。

協議では、「現行通り」、「同
じ議員だから同額にすべき」、

合併協議説明会

合併を考える

全町を対象にした合併協議説明会が十一月二十一日から十二月七日まで、町内七会場で開催され、総合支所の権限や合併後の自治制度などについて活発な意見交換が行われました。その話し合いの主な内容を紹介します。

問 地域審議会と地域自治区の違いは何か。

答 地域審議会を置く場合は、区長といった特別職はいないが、地域自治区には常勤特別職を置くことができる。また、自治区には地域審議会とほぼ同じ機能を持った協議会を設置する。



▲活発な議論が交わされた説明会（写真は11月29日・高瀬館）

問 区長の権限はどの程度か。

答 権限については現在整理しているところ。特別職の方が新市長に住民の要望を伝えやすいという安心感から、区長の設置を求める声もある。

問 指定金融機関にはJ Aと秋田銀行が候補のようだが、

が、秋田銀行が新市の指定金融機関になった場合、東由利に支店は出せるのか。

答 秋田銀行では支店は出さない見通し。公金の取扱いに遜色はないが、住民サービスの視点で判断すればJ Aが良いのではないかと考える。

問 第三セクターはどうなるのか。

答 そのまま新市に引き継ぐ

ことで確認済み。補助・支援も現行どおり引き継がれるが、いつまで続くか協議が必要。直営施設もあり、何年かかかって整理されていくと思う。

問 合併後は大内町のケーブルテレビを見れると聞いたが。

答 一市七町に広げる仕組みを建設計画にあげている。合併後五年以内で広げたいとしている。

るが、国の補助制度など財政面で不透明な要素もある。緊急度や財政状況を考慮しながら進めたい。

問 職員の人事異動はどうなっていくのか。

答 退職者の三分の一を補充し、十年間で三百人減員する計画。極端には減っていかないと思う。

合併公告

社会福祉法人東由利町社会福祉協議会は、平成16年8月31日開催の理事会及び評議員会において、社会福祉法人本荘市社会福祉協議会及び社会福祉法人矢島町社会福祉協議会、社会福祉法人岩城町社会福祉協議会、社会福祉法人由利町社会福祉協議会、社会福祉法人大内町社会福祉協議会、社会福祉法人西目町社会福祉協議会並びに社会福祉法人鳥海町社会福祉協議会と合併して解散し、社会福祉法人由利本荘市社会福祉協議会を設立することを決議しましたので、合併に異議のある債権者は、平成17年1月5日から平成17年3月10日までの間にお申し出ください。

平成17年1月1日

秋田県由利郡東由利町老方字台山36番地

社会福祉法人東由利町社会福祉協議会

理事（会長） 阿 部 剛

シルバー人材センター統合に調印

一市七町で4月に統合

本荘由利一市七町のシルバー人材センターの統合契約調印式が十二月二十日、本荘市のホテルアイリスで行われました。

調印式には、八市町のセンター役員ら約七十人が出席。各センターの会長が統合契約書に調印しました。

調印式では、統合協議会の会長を務める本荘市シルバー人材



▲統合契約書に調印する各センターの会長

センターの工藤一弘理事長が「生涯現役という会員の熱意に報いる大命題がある。統合を機に、より強固な組織にしていきたい」とあいさつしました。

この統合は、社団法人本荘市シルバー人材センターへ七町のセンターが編入統合する方式。新組織の役員は来年五月の定期総会で選出し、それまでは本荘市の理事と監事が役員を務めることになります。

新名称は「由利本荘市シルバー人材センター」。平成十七年四月一日に統合発足します。

ショートステイ開所式

明るく快適な生活を



▲開所を祝うテープカット

八床の増床工事が終了した東光苑ショートステイの開所式が十二月九日、東光苑で行われ、阿部幸悦町長や遠藤忠平議長、東光苑の入所者ら約百人が増設された施設の完成を祝いました。

式では阿部町長が「ショートステイは、高齢者社会には絶対に必要な



▲増床された八床はすべて個室

施設 合併を前に八床増設することができて良かったと思う。今日は東光苑入所者の皆さんにも新しい施設を紹介したい」とあいさつ。

その後、開所を祝うテープカットが行われ、出席者らが新しいショートステイ棟を見学しました。

このたび開所したショートステイ棟は、鉄筋コンクリート造の平屋建て。談話室には黄桜をモチーフにしたアイトレリーフが設置されました。また、これまでどおりの介護サービスを維持できるように厨房の一部を改築したほか、サービステーションの機能を増強。入所者が明るく快適に過ごせるように配慮されています。

町職員の給与の現状をお知らせします

情報公開の一環として町職員の給与等の現状についてお知らせします。

職員の給与は、人事院の給与勧告、他の地方公共団体との均衡を考え、町議会での議決を経て条例で定められています。

1. 人件費（平成15年度普通会計決算）

住民基本台帳人口 16.3.31現在	歳出総額 (A)	実質 収支額	うち人件費 (B)	構成比率 (B/A)
4,789人	3,912,413(千円)	213,594(千円)	666,050(千円)	17.0%

※人件費には、特別職（町四役、議員、非常勤の特別職等）の給与と報酬などを含みます。

2. 職員給与費（平成16年度一般会計当初予算）

職員数 A	給与費				1人当たり 給与額 (B/A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
66人	244,069千円	48,603千円	96,916千円	389,588千円	59,028千円

※職員手当には、退職手当を含みません。

3. 職員の初任給（平成16年12月1日現在）

区分	一般行政職		技能労務職
	大学卒	高校卒	高校卒
初任給	170,700円	138,800円	136,000円
採用2年後	184,400円	148,500円	145,500円

4. 職員の経験年数別、学歴別平均給料月額（平成16年4月1日現在）

区分	経験年数	10年～15年未満	15年～20年未満	20年～25年未満
	大学卒	—	332,200円	345,900円
一般行政職	高校卒	228,900円	277,600円	301,400円

5. 平均給料月額、平均年齢の状況

区分	平成15年4月1日		平成16年4月1日	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	329,500円	41歳0ヵ月	311,600円	42歳1ヵ月
技能労務職	246,600円	44歳2ヵ月	252,900円	45歳2ヵ月

6. 職員手当の状況（平成16年度）

①期末・勤勉手当の支給割合（国と同じになっています）

区分	6月期	12月期	3月期	計
期末手当	1.40月分	1.60月分	—	3.0月分
勤勉手当	0.70月分	0.70月分	—	1.4月分

②退職手当の支給割合（国と同じになっています）

区分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度
自己都合	21.0月分	33.75月分	47.50月分	60.00月分
勧奨・定年	28.087月分	43.33月分	60.99月分	60.99月分

③時間外勤務手当の支給実績（選挙担当職員分を除く）

平成15年度	支給総額	12,578千円
	職員1人当たり支給額	170千円

④管理職手当の支給率（平成16年4月1日現在）

7 級	主席課長補佐	4%
	課長等	8%
8 級	主幹	10%

⑤扶養手当、住居手当、通勤手当の月額（平成16年12月1日現在）

手当名	区分	支給額
扶養手当	配偶者	13,500円
	その他1人目	配偶者が扶養親族である場合 6,000円
		〃 でない場合 6,500円
		配偶者がいない場合 11,000円
	その他2人目	6,000円
	その他3人目から（1人当たり） 満16歳年度当初から満22歳年度末までの1人につき	5,000円 加算 5,000円
住居手当	借家 自家で新築から5年目まで	最高 27,000円 2,500円
通勤手当	交通機関利用 自動車等利用	最高 50,000円 最高 20,900円

7. ラスパイレス指数の推移

年 度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
ラスパイレス指数	94.0%	91.4%	90.2%

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与を100とした場合の町職員の給与水準を表す数値をいいます。

8. 特別職の報酬等の状況（平成17年1月1日現在）

区分	報酬月額	区分	報酬月額	期末手当
町長	805,000円	議長	273,000円	6月期 1.60月分
助役	610,000円	副議長	233,000円	12月期 1.70月分
収入役	570,000円	議員	218,000円	計 3.30月分
教育長	540,000円			

9. 一般行政職の級別職員数の状況（平成16年4月1日現在）

区分	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	計
標準的な職務内容	主幹	課長・主席課長補佐	課長補佐	係長	主査	主任	主事	主事補	
平成15年度職員数	2人	8人	11人	17人	8人	8人	8人	4人	66人
構成比	3.1%	12.1%	16.7%	25.7%	12.1%	12.1%	12.1%	6.1%	100%

※町の「一般職の職員の給与に関する条例」に基づく給料表の級別区分による職員数です。

10. 部門別職員数の状況（各年4月1日現在）

区 分	職 員 数		対前年増減数	主 な 増 減 理 由	
部 門	16年	15年	16年		
一 般 行 政 部 門	議 会	2	2		
	総務企画	23	22	1	教育部門により庁務員増
	税 務	4	4		
	民 生	6	6		
	衛 生	3	3		
	農 林	11	10	1	業務増
	商 工	1	2	△ 1	業務減
	土 木	6	6		
小 計	56	55	1		
特 別 行 政 部 門	教 育	18	19	△ 1	総務部門へ異動による庁務員減
小 計	18	19	△ 1		
普 通 会 計	74	74			
公 営 企 業 等	水 道	2	2		
	下水道	1	1		
	その他	36	37	△ 1	退職不補充
	小 計	39	40	△ 1	
合 計	113	114	△ 1	※平成16年度職員内訳 (一般行政職員66人・単独労務職員36人・臨時職員11人)	



⑨ 雪

克雪から親雪へ

いよいよ冬がやってきました。これから春までの約三カ月間は、冷たい雪との闘いです。毎朝の雪かきを考え、頭を悩ませている人も少なくないのではないのでしょうか。しかし、高水準の除雪体制が整い、人々の生活スタイルも大きく変わってきたため、雪も嫌われるばかりではなくまりました。近年では、雪を利用し雪に親しもうという活動も見られるようになりました。

最深積雪

2・67メートル

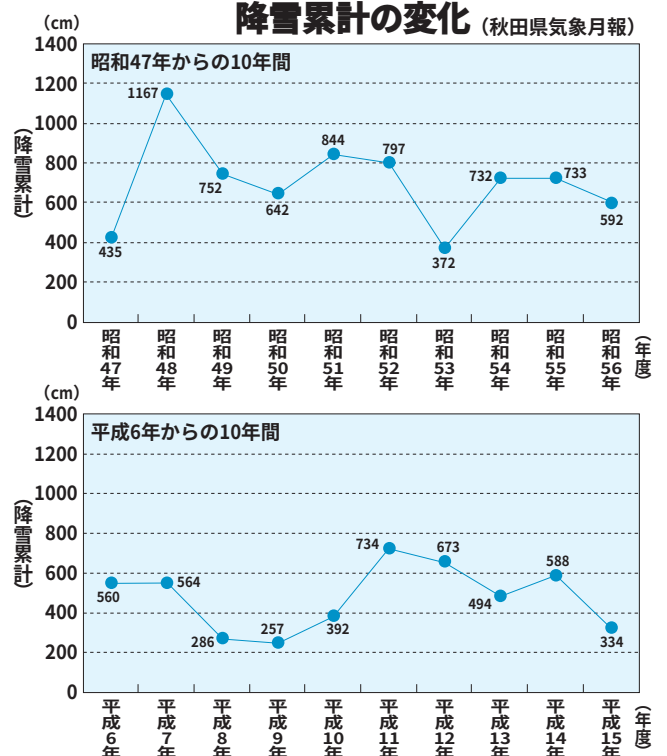
平成十五年度の本町の降雪累計は三・三四、最深積雪は一・に満たない八十八



▲昭和49年の豪雪

でした。降雪量は、年々減少しており、昭和四十七年からの十年間と平成六年からの十年間の平均降雪量累計を比較すると約二・二の違いがあります。本町における降雪量がもっとも多かったのは、東由利村当時の昭和四十八年度のことです。秋田地方気象台東由利観測所で観測された、その年の最深積雪は二・六七、降雪累計は十一・六七にもなりました。人々は、交通途絶など生活の不安にさいなまれながら、来る日も来る日も雪と闘い続け、空き地という空き地には、人々の闘いの跡とも言える巨大な雪山が出現。三月が間近になってからも、役場前の積雪は二を越えました。

降雪累計の変化 (秋田県気象月報)



冬の生活を変えた 除雪技術

空前の豪雪に見舞われた村では、住宅や公共建造物の損壊防止をはじめ、交通通信の確保など住民生活全般にわたる雪害防止に対処するため、雪害対策本部を設置。また、バス路線などの道路交通を確保するための除雪作業が、連日連夜行われました。

在では、ロータリー除雪車など十七台の除雪機械を配備。一部路線の除雪については業者委託するとともに、町直轄路線に九人のオペレーターを確保。昭和五十八年度からは、国道の除雪は県が民間に委託して行うようになったため、除雪機能が一段と向上しました。現在では、一日当たり総延長約百四十四の道路の除雪が可能となっています。

しかし、除雪体制が確立され道路整備が進みながらも、住宅密集地では、まだまだ除雪雪にたいへんな労力と時間を要していました。そこで、これを解

消するために流雪溝の設置を望む声が高まり、昭和五十三年から昭和五十五年に県単事業として大琴地区に延長約八百メートルの流雪溝を設置。昭和六十年には、同じく県単事業として進めていた蔵地区の流雪溝が完成しました。また、平成に入ってからのは老方・館合地区でも流雪溝の整備事業が順調に進み、人々を悩ませ続けてきた冬期間の除雪作業は、以前とは比較にならないほど効率的になりました。

大平スキー場の開設

町内唯一のスキー場、大平スキー場の始まりは、昭和三十四年から造成された牧草地でした。昭和五十六年に町営となるまで、同スキー場を切り盛りしていたのは、地元住民やスキー愛好者ら。昭和四十一年には下吹自治会が中心となって、三十人宿泊可能な大平荘を建設し、地元の主婦たちが食堂部の給仕を担当しました。

まだ観光施設の少なかった町は、町外からもスキーヤーが集まるこのスキー場に注目。リフトやナイター照明の設置、ヒュッテ新築などの整備を進めました。そして、冬期間の除雪体

制がより強化されていったことと相まって、大平スキー場にはより多くのスキーヤーが足を運ぶようになったのです。また、昭和六十年からは大平スキー場を会場に「雪まつり」を開催。平成六年に、その会場が道の駅地内に移されるまで、多くの人出でにぎわいを見せました。

もっと雪に親しむ

大平スキー場のスタートが

地元住民からだったように、近年も、雪に親しもうという活動は民間のグループから広がりを見せています。

「東由利をおもしろくする会（小野克弘会長）が主催する「雪上野球W杯東由利大会」は、雪の上でのヘッドスライディングが醍醐味。町内外から十八チームが参加するまでになりました。また、「やしお元氣クラブ」（阿部淳会長）が主催する「早春やしお元氣まつり」も、

すでに二月の恒例行事として定着。八塩いこいの森の大自然を冬でも満喫できるイベントとして、町内の家族連れが多く参加しています。

雪は、時には大きな災害をもたらします。本町にとっても、克雪は大きな課題でした。しかし、雪国の大変さを知っているからこそ、人々の中にはもっと冬を楽しみたいという思いが強くあるのかもしれない。

「雪の暗いイメージを払拭！地域の思いをイベントに」

東由利をおもしろくする会長
小野 克弘さん



私たちが雪上野球大会のようなイベントを開催しているのは、暗い雪のイメージを払拭し、東由利町の子どもたちにも自信を持ってほしいからです。「東由利でもこんな楽しいことをやっているんだ。こんな人たちが

いるんだ」と感じてほしい。だからテレビや新聞の取材は積極的に受け入れ、それらを通して町内にもアピールしたいと考えています。また、より多くの人に東由利町のことを知ってもらい、地域の活性化につなげたいと思っています。「東由利をおもしろくする会」だけでなく「弁天島ほたるの会」や「やしお元氣クラブ」など、町内でイベントを企画しているグループは、みんな同じ目標を持って取り組んでいるはずだ。

おもしろくする会で雪上野球大会を始めたきっかけは、秋田市で開催されていた大会が雪不足で開催できなかったことでした。以前から東由利でもやっ

てみたいと考えていたし、冬のイベントが雪まつりだけでは物足りない、出来たばかりの野球場を冬でも活用したい、という理由から開催を決めました。

この大会は、平成四年から始まり、今年で十四回目を数えます。マスコミに何度か取り上げてもらったおかげで、自分たちの自信にもなりました。しかし、このようなイベントを五回、十回と継続させるのは大変なこと

です。これまで続けてこれたのは、町野球協会や毎年参加してくれる地元チーム、遠くから足を運び大会を盛り上げてくれる近隣市町のチームがあるおかげだと思っています。一緒に「バカ」をしてくれる仲間たち

に恵まれました。

東由利には、町を盛り上げたいて思っている元氣な人が、まだまだたくさんいるはず。そういう人たちがもっと前に出てきて、一緒に頑張ってくれたら、もっと楽しいことができるのではないだろうか。

今年の三月に東由利町は合併し、新市としてのスタートを切ります。合併するまでは続けたという思いで続けてきたので、今はまだ合併後の計画ははっきり考えていません。でも地域のために何かしたいという気持ちは変わりません。これから町内の他のグループと協力し合いながら、地域の思いをイベントにしていきたいです。



▲2004雪上野球W杯東由利大会

年男・年女インタビュー

今年は私たちの年



《質問事項》①2004年でもっとも印象に残っていることは？

②2005年の抱負は？ ③東由利の好きなところは？ ④あなたが描く東由利の未来像は？



佐藤 郁絵さん
保育士
(新沢・昭和56年生まれ)

- ①新潟での地震は強く印象に残りました。友人が新潟にいますので、今まで他人事だと思っていた災害を身近に感じました。災害に対する意識が変わった気がします。
- ②仕事や趣味、遊びなど、すべてにおいて充実した一年にしたいと思います。いろんなことにチャレンジしたいですね。
- ③のんびり過ごせる、ゆったりとした空気が好きです。
- ④「東由利町」という名前はなくなりますが、町並みや自然などは変わらないでほしい。住んでいる人や帰ってきた人が、落ち着く場所であってほしいです。



阿部 ひかるちゃん
高瀬小学校5年
(大琴・平成5年生まれ)

- ①そろばんで2級になったことが一番うれしかったです。私の目標は1級をとることです。
- ②野球の本戦で勝つことです。新人戦で負けたので、今年は本戦での優勝を目指したいです！
- ③みんな優しいところが大好きです。学校や地域の人たちみんなが優しいと思います。
- ④お年寄りも子どもも、みんな仲良く暮らせるような東由利になってほしいです。



遠藤 吉喜さん
会社員
(新町・昭和32年生まれ)

- ①5月に妻の両親を東由利に呼んだことです。とても喜んでくれました。
- ②特別な目標はありませんが、今年も山や川、海にたくさん行きたいと思っています。山菜採りや釣りを毎年楽しみにしています。
- ③きれいな風景がたくさんあるところですね。一番好きなのはテレビ塔からの眺めです。
- ④合併後、新市の中心から離れた地域の過疎化が心配。東由利は、湯楽里などを中心に頑張ってもらいたい。



渡辺 多代子さん
会社員
(館合新田・昭和44年生まれ)

- ①長女がミニバスケットで県大会に出場したことです。応援する側も、される側も一つになって頑張れた気がして、とても感動しました。
- ②時間にもう少しだけ余裕を持ちたいです。子どもたちの話も、ゆっくりとした気持ちで聞いてあげられるようにしたいですね。
- ③自然が多く、目や鼻、耳、口、肌…、とにかく体全体で四季を感じられるところ。蛇口をひねるとおいしい水が出てくることは本当に幸せなことだと思います。
- ④合併しても、私たちの地域が大事にしてきた環境や人と人のつながりが、いつまでも続くことを願っています。

ニュース & トピックス



▲懐かしい仲間と記念撮影

久しぶりの再会喜ぶ

在京宿小会・大琴小会

第十六回在京宿小会・大琴小会（畑山良造会長）が昨年十一月二十三日、東京都で行われ、出席した約五十人の会員が一年ぶりの再会を喜び合いました。

総会では、同会の運営報告などが行われたほか、阿部幸悦町長があいさつのなかで合併協議の進行状況を報告。その後、恒例の記念撮影や懇親会が行われ、会場では久しぶりの再会に談笑の輪が広がりました。



▲旧法内小学校跡地に建てられた記念碑

思い出を記念碑に

法内小学校記念碑建立実行委員会

昭和四十九年に蔵小学校と統合し、百年の歴史に幕を閉じた旧法内小学校の廃校後三十年の節目を記念し、同校跡地に記念碑が建てられました。

この記念碑は、地元住民や卒業生らで結成した実行委員会（阿部一郎実行委員長）が、片側の校門だけが残る同校跡地に、何か記念になるものを残したいと建てたものです。

十一月二十八日に行われた除幕式には、卒業生や恩師ら約五十人が出席し、法内小学校で過ごした学校生活の思い出を振り返りました。



▲寄贈された環境図書の一部

東由利中学校へ環境図書

社団法人本荘法人会より

社団法人本荘法人会より、東由利中学校に環境図書二十冊が寄贈されました。

同法人会では、明日を担う子どもたちに、環境汚染などの問題に関心を持ち、命や自然の大切さを知ってもらおうと、このような環境図書の寄贈を毎年行っており、今年で七年目となります。

このたび寄贈された環境図書は、東由利中学校の図書館に設置されました。



▲林野庁長官賞を受賞した大庭幸夫さん

大庭さんに林野庁長官賞

全国山林苗木品評会

町内で林業を営む大庭幸夫さん（船木）が、このたび「全国山林苗木品評会」で林野庁長官賞を受賞しました。

この品評会の審査は、木の苗の出来だけでなく、たい肥づくりを含む生産全体を対象に行われます。県内での受賞者は大庭さん一人でした。

大庭さんは、「もっと上の賞を狙いたかった。しかし、私のような小規模経営で、このような賞をもらうのはなかなか難しい。これからの励みにしたい。」と今後の抱負を話していました。

メルヘンの世界に感動



▲感想画・小学校の部メルヘン賞「むしたちのうんどうかい」



▲感想画・幼児の部メルヘン賞「はらぺこあおむし」

第十三回 高橋宏幸賞 童話秋田県コンクール表彰式

東由利町出身の童話絵本作家である高橋宏幸氏の業績を顕彰し、子どもたちの読書意欲の高揚を目的に創設した童話秋田県コンクールの表彰式が十二月十九日、有鄰館で開催されました。

今回で十三回を迎えた表彰式は感想文九十三点、感想画二千九百九十六点の応募作品の中から上位入賞された園児、児童、保護者、関係者など百五十余人が出席して行われました。



▲メルヘン賞を受賞した斎藤遥佳さん

阿部幸悦町長のあいさつ、審査員紹介に引き続き、審査講師では佐々木良三審査委員長（秋田大学名誉教授）より受賞作品の解説、倒置法で描かれた童画の紹介が行われました。

表彰では受賞者全員に町長から賞状と副賞、高橋宏幸先生から絵本と直筆サイン入り色紙が手渡されました。

その後行われた感想文の発表では新山小学校五年須田羽奈子さんがメルヘン賞受賞作品「グッドラック」を見事に朗読。

最後に高橋宏幸先生が、本を読むことの大切さ、読書によって育まれる心の豊かさなどのお話をして表彰式を締めくくりました。

※感想画の上位入賞作品百十六点については、十二月二十六日から一月五日まで「ぶれっそ」で、一月七日から一月十六日まで「ジョイフルシティ本荘」で展示されます。

第十三回高橋宏幸賞・童話秋田県コンクール受賞者

◆感想文の部			
賞	氏名	学校名	作品題名
メルヘン賞	須田羽奈子	新山小学校 五年	グッドラック
ロン賞	伊藤 大地	湯沢北小学校 二年	おにいちゃんでもいいよ
ロン賞	須田久瑠実	四ツ屋小学校 三年	へいわなせかいになつてほしい
ロン賞	大森 美優	十和田小学校 四年	「かわいおはけのモモンガ」を読んで
ロン賞	阿部 佑美	高瀬小学校 六年	「モン・クリスト伯」を読んで
ロン賞	小野 俊太	八塩小学校 二年	わたしのあはちやんだてすいじょ
フタダジ賞	岩谷 朱音	湯沢北小学校 二年	わたしの考える親友
フタダジ賞	佐藤 菜優	四ツ屋小学校 二年	星空のシロを読んで
フタダジ賞	齋藤さくら	平沢小学校 三年	自分らしくあるということ
フタダジ賞	藤田 紗良	新山小学校 五年	よたかの願い
フタダジ賞	佐藤真美子	明通小学校 六年	モチモチの木ががやくとき
フタダジ賞	高橋 恵美	明通小学校 六年	麗音たちからの贈り物
フタダジ賞	佐藤真奈美	八塩小学校 六年	
◆感想画の部・幼児の部			
賞	氏名	園名	作品題名
メルヘン賞	斎藤 遥佳	みどり保育園	はらぺこあおむし
ロン賞	佐々木優希	西仙ひまわり幼稚園	おおきなおおきなおいも
ロン賞	遠藤 隆矢	永慶保育園	かぶとむしのぶんた
ロン賞	斉藤 莉南	中央保育所	そらいろのたね
ロン賞	小野 莉歩	みどり保育園	かばくん
ロン賞	佐藤 諒	みどり保育園	おおきなおおきなおいも
フタダジ賞	土井 夢翔	ひかり保育園	はらぺこあおむし
フタダジ賞	備前 遥	石脇北保育園	栗、チクチクしたよ
フタダジ賞	今井 力	小砂川保育園	はらぺこあおむし
フタダジ賞	佐々木 駿	ひかり保育園	ねずみのすもむ
フタダジ賞	渡辺 伊織	中央保育所	そらいろのたね
フタダジ賞	佐藤絵里花	みどり保育園	おおきなおおきなおいも
フタダジ賞	荻野 凌汰	みどり保育園	そらいろのたね
◆感想画の部・小学生の部			
賞	氏名	学校名	作品題名
メルヘン賞	石川 史也	鶴舞小学校 一年	むしたちのうんどうかい
ロン賞	宮川 将武	十和田小学校 一年	こんきつね
ロン賞	遠藤 凌	高瀬小学校 一年	まじよがうへしめつづつ
ロン賞	真坂美香子	直根小学校 二年	おおきなながはし
ロン賞	安保 康平	鶴舞小学校 三年	かたあしだちうのエルフ
ロン賞	須田 孝太	由利小学校 三年	かわいそつなぞう
フタダジ賞	小笠原 峻	鶴舞小学校 一年	てぶくろ
フタダジ賞	川井 翔太	新山小学校 二年	くじらのあくび
フタダジ賞	村井 悠矢	新山小学校 二年	くじらのあくび
フタダジ賞	塚本 航平	鶴舞小学校 三年	小人のくつや
フタダジ賞	小柳 綾夏	新山小学校 三年	わすれないよにじの国
フタダジ賞	渡辺 涼祐	金浦小学校 三年	チロメフのきつね
フタダジ賞	三浦 圭太	由利小学校 三年	ウーフとツネとミミちゃん

「グッドラック」

本荘市立新山小学校 5年 須田 羽奈子

人間だれでも、「成功したい」と思っています。全てが自分の思い通りにいったり、トントンびょうしにものごとが運んだりすることになれば、どんなにうれしいことだろうと思います。私たちは、これを「運がよい」と言っています。

しかし、いつもそうなるとは限りません。むしろ、うまくいかない方が多いと思います。どうしてだろうかと考えていた時に、この本と出会いました。表紙には、「一生に一冊の幸運と出会いました」という言葉がありました。まさに、今の私と同じ気持ちで、うれしく思いました。そして、「幸運」をキーワードにしながら読み進めていきました。

はじめに、公園のベンチで五十四年ぶりに再会した、幼なじみのマックスとジムの会話の様子が出てきました。私は、その会話の中の「僕たち家族、すっかり運に見放されてしまった」というジムの言葉に、うなずいてしまいました。それは、私たちは自分に都合が悪いことが起こると、すぐ「運が悪いからだ」と言ってしまうことが多いと思ったからです。

しかし、マックスの話を聞いて、ジムは運から見放されたのではなく、運を見放したのだと思います。マックスは、運と幸運は全く別なもので、幸運は自分の手で作り出すものだって言っています。確かに、マックスの生き方や考え方からは、ジムにはない、工夫、挑戦、努力などが見えます。私は、今まで、運と幸運を同じように考えていたので、この違いをもう少し詳

しく知りたいと思い、ドキドキしながら読み進めていきました。

次に、マックスが祖父から聞いたという昔話「運命をわけたクローバーの物語」が続いていました。その物語では、ノットとシドという二人の騎士の生き方や考え方を通して、「幸運とは何か」を、私達に考えさせようとしていると感じました。

二人の騎士は、幸運を与える四つ葉のクローバーを、広い魅惑の森からつみ取ってくるという試練に挑戦しました。幸運を手に入れようと、自ら追い求めようとする勇かんに感動しました。

ところが、日が経つにつれ、二人の行動や考え方に違いが出てきました。ノットの行動からは、人を頼る、すぐあきらめる、見下げるなどの悪いところだけが見え、心を打たれるものが一つもありませんでした。逆に、シドの行動からは、自ら工夫する、今日できることは今日やる、欲するばかりではないけない、人にも手をさしのべられる広い心をもつなど、たくさんのかを学ぶことができました。

ここで、今までもやもやしていた「運と幸運」の違いをはっきりさせることができました。運はふとやってくるものですが、幸運は自ら下ごしらえをしてつかむものだという事です。しかも、いつも手が届くところにあり、誰にでも公平に与えられるのだということです。私は、運に頼らないで、努力をしたいです。幸運をつかむために。

12月 公民館行事から

「まんがの正体」にふれる

～青少年講演会

十二月十三日、東由利中学校で、中学生と、町内小学校の五年、六年生児童を対象に、青少年講演会が開催されました。

当日は大森町出身で漫画家のきくち正太氏が「まんがの正体」をテーマに、漫画の動きや音を表す表現方法の実技や、漫画家になるまでの過程等の講話を行いました。

小・中学生は漫画の作品が完成するまでの行程や、夢の実現に向けて努力することの大切さを学びました。



▲描き方のポイントアドバイスを行う

非常時に備え心の準備を

～ことぶき大学

ことぶき大学が十二月十三日に有鄰館で開催され、高齢者のための防災講座が行われました。

当日はことぶき大学生百四人が参加、「あなたと家族を災害から守る」をテーマに東由利分署長の佐野隆雄氏が、最近日本で起きた地震のことや災害時の心得等の講話を行いました。

今年は天災が多数発生したこともあり、受講生は真剣な表情で聴き入っていました。



▲非常時の心得を学ぶ



小松耕輔

「音楽の花ひらく頃」

「音楽も、社会と握手して進んでいかなければ、存続もその先にある発展も望めないものだったのです…」
先月号に続き、音楽家・小松耕輔について研究された
小野千草さんにお話を伺いました。

聞き手●教育文化課 小松 英治

― 当時、平民が好んだものとして、義太夫、浪花節、長唄などに代表される寄席の芸がありますね。耕輔は寄席をして「その空気の不健全にして、しかも非美術的なものか」と嘆いています。新しく入ってきた西洋音楽も取り入れて、平民音楽を改良、善導していく必要があると。そのような考えが随所に出てきますよね。

小野 これは誤解されやすいのですが、耕輔は、寄席の場や観客、演目が全て卑俗だといって排除しようとしたのではありません。義太夫の中にもすごく涙するようなものもあって、耕輔自身好んで通っています。むしろ寄席という場を、民衆の生活や感情と密接に関係している場として評価しているため、そこで演じられるものや雰囲気、それが卑俗に流れるままに放置して顧みられていないことを批判しているのです。問題は、音楽を聴く場として調整する導き手がないことだということを言

っています。耕輔は、寄席の持つ民衆との生活習慣的、感情的な密接な関わりを、新しく導入する西洋音楽との間にも作りたい、と思っていました。そのため、寄席という場をもっとうまく利用すべきであるという主張を雑誌へ寄稿しています。

― 耕輔は長唄、常磐津などの名人会をよく聴きに行ったり、落語では小さん、圓遊、浪曲では雲右衛門といった寄席芸を好んだと回想していますね。音楽家は、寄席という場にもどんどん出て行って、民衆と社会的な交渉を持つべきだということですね？

小野 そうですね。しかし、当時の音楽家は寄席に行くことを非常に嫌がるわけです。そういった高踏的な態度の音楽家たちを、耕輔は非難し、音楽家ももっと社会に出て行き、その一員として活動しなくてはならないと呼びかけています。そして、民衆の生活に一

番近いのは寄席の場なのだから、平日の昼間は忙しく働いている一般大衆の余暇の時間である日曜の休日であるとか夜間を利用して、できるだけ安い料金で提供できるようなシステムに変えていくことを提言しています。

― 大正の中期、民衆に人気を博したものに浅草オペラがありますでしょう。音楽家、教育者、政府には一時の流行だとか邪道で軽薄だなどと批判の対象にもなった浅草オペラですが、耕輔は自ら「椿姫」等を訳し、作品を提供していますね。そこにも、民衆の中に積極的に関わっていかうとする姿勢を感じ取ることができるのですが。

小野 浅草オペラについては、純粋なオペラではないけれど、将来的には立派な歌劇を生む可能性を持っていると考えていたようです。西洋音楽が一般の人達にはなかなか受け入れられず、なぜ、このような音楽が好まれるのか。

世の音楽家は、民衆は日々生活の中で何に親しみ、どのようなものを好み、何に興味を持つとうとしているのかにもっと注視しなければならぬし、学ばなければならぬことが一杯あるということを書いていました。寄席や浅草オペラへの態度は、現実の潮流としっかりと向き合い、「社会一般」や「民衆」と音楽との交渉はいかにあるべきかを常に模索していたということをよく表していますね。

― 寄席や浅草オペラといったものに注目するのは、正統的な西洋音楽を取り入れるというのとは方向が違ってしまうように思うのですが。

小野 耕輔は、西洋音楽の技術や音楽構造は確かに優れたものと評価し、積極的に日本へ採り入れようとしています。



歌劇「椿姫」「やさしの花、つげよや」のスコア表紙

したが、ただそれを真似するだけではだめで、そこに「日本人のもの」が發揮されなければ、そして日本人の感情にあうものにならないければ、日本人にとって「自分たちの音楽」にはならないと考えていました。西洋の高尚なものを卑俗なものに落とすのではなくて、高度な財産に、さらに日本人の「国民性」や「個性」といったものをプラスして、初めて日本の音楽ができるのだという音楽観を持っていました。

― 昭和五十三年に建った小松音楽兄弟の顕彰碑の碑文には「日本語は歌いやすく 美しいことばである」とあります。これは当時の町長であった小松栄男氏が耕輔の著書の中の言葉から簡約したのですが、なぜ日本語という国語を問題にしなければならなかったのでしょうか。

小野 私も秋田を訪れた際、顕彰碑を拝見しました。碑文は「音楽の花ひら

く頃」の最後に出てくる部分ですね。碑文の主旨は、日本語そのものの価値を云々したものではなく、歌詞のある歌というのは、聴衆がその国語を理解して初めて効果を生ずるということを言っていたのです。西洋のものを、全く解らない西洋の言葉で歌って、それで日本人の音楽になるでしょうか、本当に日本人の心に音楽が根づくのでしょうか、という問いかけだったと思います。

― 当時の声楽界では、西洋の歌は西洋の原語（言葉）で歌われなければ本物ではない、といった原語主義の勢力が非常に強く、ましてや日本語の歌詞による歌曲など一向に顧みられなかった一時期があったわけでしょうか？

小野 「原語一点張り」の考え方が強かったのです。それに対して「邦語歌唱」という運動が起きてきます。それを実践した人が永井郁子という人で

す。永井は「なぜ、日本の声楽ばかりが邦訳歌詞で歌ってはいけないのか」と問いかけ、邦語独唱会を実に五百回も開催しています。耕輔は、この永井の試みを新聞の評に、「当然しなければならぬことが、ようやく一つ実行された！」と賞賛の言葉を寄せています。耕輔も、声楽における音楽と詞は切り離せない関係であることは十分分かっていたのですが、聴衆が外国語を全く理解できないような条件下で、なお、西洋の言葉で歌わなければならない理由はないと主張しています。日本人の心に音楽を入れるためには日本語に訳して歌う。そうすることによって、日本人の日常生活の中に少しずつ音楽が親しまれていって、日本の音楽を作るきっかけができる。西洋音楽をどのようにして普及させていくかという色々な試みがあつたわけですが、実験的であつてもやっていこうとしたのです。それは、歌劇にせよ、耕輔が作った歌曲にせよ、この邦語歌唱という問題にせよ、共通している試みですね。

― 耕輔は三十五歳にして欧米に留学し、ヨーロッパの音楽事情を視察しています。耕輔の社会音楽思想というのは、欧米視察の結果として初めて出てきたものと漠然と思っていたのです。が、実は違ふんですね。

小野 私も最初はそうに思っていたのです。ところが、初期の「音楽新



小松音楽兄弟の顕彰碑

報」を読んでもみると、音楽学校在学中からそういう思想が胚胎していたことが分かって、非常に驚きました。当時留学していた人はいても、専ら自らの演奏の技術を磨いて帰ってくる人がほとんどでした。耕輔の異なるところは、劇場の構造や収容人数を調べたり、養成機関がどのように運営されているか、奨学金の制度、チケットの購入方法、演奏会プログラムやポスターに至るまで、非常に細かな点に報告が及んでいます。そこまでするということは、よほど社会音楽についての問題意識があつたのだということがよくわかります。

― ヨーロッパのすぐれた音楽環境――養成機関があり、劇場があり、オーケストラの団体があり、一般の人達が楽しむ環境が整っている。しかも、これらの施設と音楽家や市民の間には



小野 千草 (おの ちぐさ)

1977年、東京都生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科修士課程修了。3歳から大学時代まで、ピアノを学び、親しむ。東京大学では美学芸術学を専攻、特に音楽学を学ぶ。現在、全国でのピティナ・ピアノステップの運営を通じて、大人から子どもまでのピアノ学習者の支援に従事している。

しっかりとした連携が取られていることに、耕輔は驚くわけですが、日本でもこうしたシステムができることを期待していたということでしょうか。

小野 そうですね。ただし、ヨーロッパの社会システムは理想ではあるけれど、すぐに実行に移すことには無理があります。そこで、今できることは何かといったら、今あるところを最大限利用して演奏活動を行うこと、とにかく、聴衆と交渉を持つということですね。その積み重ねの結果として、音楽会のできる施設を造るといった機運も高まっていくという考え方ですね。国家政策的にも提言もするが、それと同時に現実的な方向でも働きかけを行い、二方向の働きかけをしていたのです。

― その現実的な方向の一つとして、社会音楽の普及目的のため「帝国音楽



パリ在学中の小松耕輔

会を組織し、定期的な演奏活動を行っていますね。

小野 帝国音楽会が組織されたのは明治四十年のことですから、研究科在学のときですね。夏休みを利用して、メンバーを引き連れ、地方巡回して演奏会を開催するというものです。当時、地方の音楽といえば、学校音楽止まりであり、成人が音楽に親しむ機会是非常に少なかったのです。最初は東京で演奏会を開いていましたが、その後、東北、北陸、北海道、満州にまで足を延ばしています。実は、帝国音楽会が組織される前年に、秋田に演奏旅行したという報告記事が「音楽新報」にありますね。新聞社の主催で、千秋公園の千秋苑という西洋風の楽堂で盛会に行われたとあります。その後続く組織活動の出發となったきっかけが故郷、秋田での演奏会であった、というのは興味深い話ですね。

― 楽壇を組織する、音楽家の権利を擁護するといった団体の組織活動にも後年かなりの力を入れてます。「作曲家協会」の設立ですとか、合唱運動の団体を立ちあげているわけですが、これらは現在にまで引き継がれている大きな功績であると言ってよいですね。

小野 そうですね。実際に立ちあげたのは、留学から帰って来てからですが、その必要性については、在学中、すで

に「音楽新報」に書いています。「音楽家と衣食住」というタイトルの記事では、音楽家が自立していくためには正当な報酬を受けなければやっていけないし、社会構成員として当然の権利を行使せず、「武士は食わねど高楊枝」的な態度では駄目だと正面から言っていますね。自分達のジャンルは自分達で擁護していくといった労働組合的な思想ですとか、それぞれの団体の義務権利を主張するといった社会的な背景があったことは、大きく影響していると思います。その延長として作曲家協会ができていくのですが、そこまで実現するには、相当の時間がかかっていますね。

― 合唱運動についてですが、これも音楽を社会に普及させるために始めたものと考えていいと思います。コンクールという形式を採り入れたことには、西洋の合唱コンクールを参考にしています、日本でもコンクール形式でやった方が普及しやすいという考え方があったのですか？

小野 留学から戻った耕輔は、国民音楽協会を設立して、昭和二年十一月に「第一回合唱祭」と称して、明治神宮外苑で行っています。耕輔の中には、合唱に対する興味とコンクールに対する興味の両方があったと思われます。耕輔は合唱が、口さえあれば誰にでもできる上に、一緒に歌って互いの旋律

を聴くことで和声を自然と学ぶことまでできる、という点に注目し、推奨したのです。コンクールについては、競うということを求めたというよりも、東京音楽学校など一部の人の独占状態だった音楽界に、誰でも受ける権利のある登竜門をすることで、世に出るための門戸を社会一般に開くために取り入れようとしたようです。耕輔は欧州留学の間に、一般の職業についている人が、自分達の余暇として合唱や管弦楽などをやっている、そうした文化が労働者階級にも根付いていることに非常に感銘を受けました。日本では、既に学校教育の中に音楽は取り入れられていましたが、そこで大部分の人が音楽との関わりが終わってしまっていて、大人の感情を満足させる音楽がないことを嘆いています。そういった思いが、耕輔の作曲への意欲をかりたてる一つの原動力ともなっていましたし、成人教育の必要性についても随分と言及することにつながっています。

― それに関連してですが、「我が国音楽教育の父 小松耕輔」といった紹介文が随分あるのです。私達も何気なしに、そのように呼んでいるわけですね。

小野 もちろん、自ら学習院で教鞭をとっていますし、学校教育についての著作もあるのですが、そこに主眼といえますか、一番の特徴があったかとい

うと、そうではなかったのではないかと私は思います。小学校に音楽教育を最初に導入したのは、東京音楽学校の初代校長にもなっている伊沢修二という人ですが、そういう意味での父とは少し違うと思います。

― 改めて「音楽の花ひらく頃」を読んでみたところ、耕輔自身「伊沢先生は、わが国音楽教育の父である」と語っていますね。

小野 何をもって父と呼ぶかにもよって、複数の意味の父がいてもよいかもしれません。しかし私は、今の音楽文化、特に西洋音楽が世間一般の人達に広く聴かれるようになり、音楽会が開かれる施設も充実し、演奏会も多く行われるようになった…、そういった日本における西洋音楽の普及発展を支えるために欠かせない基盤づくりに貢献した人、わが国の音楽文化発展の中心的原動力として活躍された人として、耕輔は再評価されてよい人だと思います。

― 最後になりますが、小野さんはこの論文において、多岐に亘っていた耕輔の諸活動は個別に行われてきたのではなく、そこには共通した「音楽の社会化」と言える思想が流れていて、今回取り上げた耕輔の論考と活動は全てつながりを持ちながら発展してきたということを述べておられますね。そこ

で、今日の音楽界を概観するに、耕輔の一連の音楽の社会化運動の思想は、どのような点で示唆を与えているとお考えですか。

小野 まず、私たちは今ある音楽文化の隆盛が決して独りでに普及発展してきたものではなく、それらを強い意志をもってバランスを取りながら先人が育て上げてきた結果なのだということを、忘れてはならないと思います。とすると、よいものであれば何も努力しなくても勝手に発展して広がっていくものと思ってしまうがちですが、こうした耕輔のような思想をもって、音楽の社会化、つまり世間一般の人々が自分たちの音楽として享受できる仕組み作りに力を尽くした人がいなければ、今日のようにいたるところで音楽が聴かれ、望めばかなりのものまでを楽しむことができるという社会にはなっていないかたでしょう。また耕輔が、まだ摇篮期の日本の音楽文化において、なぜ何か一つの分野の向上に集中するという道よりも、未熟とは分かつつも、作曲に演奏に組織活動に、と幅広い分野の開拓を同時に手がけたのか、ということ自体が、多くの示唆を含んでいると思います。いくら演奏の技術を磨いても、それを一般の人が無理なく聴くことができる機会を作らなければ、それが生かされることはありません。よい作品を作り、よい演奏技術を学び、人々に知らせ、聴く場を設

け、批評をして次につなげる…ということが継続してできるような循環した社会のシステムを作っていくかなければ、満足な音楽文化の振興は図れないと思います。日本の音楽家のレベルも高度化し、音楽産業もそれぞれ発展した現在、あらゆる分野に密接に通暁し、バランスを取りつつ指揮していくことは難しくなってきました。だからこそ、各分野の人はお互いの分野に関心をもち、それがどのように連環して聴衆のもとに届き、音楽文化を形作っていくのかに、より意識的にならないければならないと思います。

そして最後に、耕輔が「民心」という言葉で表しているように、民の心は常に変わるものであり、民衆の求めるものに合っているかどうか、常に注視しなければならぬということも心に留めておくべきことだと思います。そして、その「民心」を固定的なイメージをあてはめてしまうのではなく、それ自体を常に見直し続けなければならぬとせし、そのために、耕輔が行ったようにあらゆる隣接分野や大衆芸能にも目を配っていくことも重要だと思っています。現に様々な模索が試みられていますが、そうした試みには、耕輔が百年前に抱いていた精神が脈々と受け継がれていることを感じますし、それがこれからの世の中ではどのような形として現れてくるのか、注目してゆきたいと思っています。

(取材日 平成16年11月12日 東京・池袋にて)

【編集後記】

小野さんは、美貌にして多忙な人である。十五年の春「小松耕輔について論文を書きました」という瘦身の彼女を前に、私は黙りこむしかなかった。「此処の人は、耕輔をどのように評価されているのですか」の問いに、「耕輔について詳しく知っている人はいませんよ」と私は答えたのだった。何も知らないのは私であった。ところが、昨々年、耕輔に関する照会が相次いだ。少しは知っておこうと紹介文に目を通すも、一向に興味が湧かない。

幸い、小野さんの修士論文は県立図書館に収められていた。序論を読み、何かに吸い込まれていく筆致を感じた。かつての非礼を詫び、修士論文を送っていただいた。そこには、全く異なったもう一人の小松耕輔が描かれているではないか。私は、小野さんに会わなければならないと思っていた。折しも、今年は耕輔生誕百二十年ではないか。標題は「音楽の花ひらく頃」と決めていた。会話は約四時間に及んだ。今回の特集は、そのほんの一部にすぎない。耕輔の言説と諸活動を詳細に読み解き、糸を紡ぐように展開していった小野さんの論文は、日本音楽史における初めての小松耕輔論であると共に優れた社会音楽論である。

多忙の折、私の拙い原稿に校正を入れ、最後まで激励叱咤いただいた小野さんに深甚の感意を表します。(英)



知っておきたい Q&A

Q.

介護保険料を滞納し続けると、介護サービスを利用しようとしたときに多額の自己負担をしなければならないそうですが、具体的にはどのような不利益があるのですか。

A.

滞納期間に応じて、次のような不利益が生じます。

1年以上滞納すると…

介護サービスを利用したときに、いったん利用料の全額（利用者負担1割＋保険給付9割）を自己負担することになります。

1年6ヵ月以上滞納すると…

介護サービスの保険給付の全部または一部が一時差し止められます。

2年以上滞納があると…

滞納期間に応じて、利用者負担が1割から3割に引き上げられた上に、高額介護サービス費も支給されなくなります。

このように、保険料の滞納があると、現在介護サービスを利用している人だけでなく、将来的に介護が必要になった場合にも多額の自己負担が生じますので、保険料納付をお願いします。

保険料納付については、随時相談を受け付けていますので、ご相談ください。

問い合わせ 町民福祉課福祉係 69-2118



年金相談を 実施します

年金だより

平日昼間はなかなか年金の加入期間の確認や年金見込み額の照会に行けないという方のために、社会保険庁では平成16年12月6日から、毎週月曜日の年金相談の受付時間を午後7時まで延長しています。

また、平成17年1月22日、2月19日及び3月12日の土曜日に、社会保険オンラインシステムを稼働して年金加入の個人記録を利用した年金相談（受付は午前9時30分から午後4時まで）を実施しています。ぜひご利用ください。

（注）月曜日が祝日の平成17年1月3日、1月10日及び3月21日については、その翌日の年金相談受付時間を午後7時まで延長します。また、オンラインシステムの都合により、平成17年1月31日、2月28日は通常どおり午後5時までとなります。

問い合わせ 町民福祉課年金担当 69-2117

ほけんしのコラム

いきいき健康教室

介護のポイントは心のゆとり

高齢者を介護するうえで大切なのは、相手の立場で考える「心のゆとり」です。

要介護者の中には、自分で排泄すらできない状況に、いらだちや悲しみを覚える人も少なくありません。また、介護者の目には、元気に働いていた要介護者の姿が焼き付いているだけに、老いた姿が情けなく映ることがあります。しかし、高齢者は子どもと違って教えても成長できないのが特徴です。要介護者の自立を促すには、心のゆとりと老いに対する理解が必要です。

〈要介護者の自立を促す介護のポイント〉

1. 「手」をかけるより「声」をかける。
2. 自分でできることは、してもらう。
3. 大きな声を出さず、耳元でゆっくりと。
4. ほめて動かす。
5. 会話やスキンシップで触れ合いを。

東由利・成立

区 分	頭数	平均体重	平均価格	kg当単価
去 勢	50	277kg	512,967円	1,763円
雌	38	261kg	461,586円	1,690円
全 体	88	270kg	490,780円	1,732円

最高価格

	金 額	父	母の父	母の祖父
去 勢	693,000円	平茂勝	北国7の8	紋次郎
雌	696,150円	平茂勝	安福165の9	福 昌

木材共販市況

平成十六年十二月・平均価格
四十五年生・五十五年生

径 級	単 価 (石)	備 考
直材36cm上	—	
24～34cm	3,398～3,598	
14～22cm	3,146～3,254	
13cm下	—	
曲 り 材	—	

全般的に当用買いで25%と低調。特に24cm～はほとんど応札もない状況。

林業
だより

林業の課題

新しい年を迎えるにあたって、一つ二つ感じた点を述べてみたいと思います。

二十一世紀も四年を経過しましたが、相変わらず景気は低迷し続け、林業分野も住宅着工減少による木材需要量の減少や木材輸入による国産材自給率の低下、木材価格の低迷などのため、林業に対する生産意欲が減退し、林業を取り巻く状況は年々厳しさを増してきています。その結果、森林管理の放棄につながり、健全な森林機能発揮を損

なう結果になるのではと危惧されています。

この厳しい経営環境のなかで持続的な木材生産、森林管理を両立させていくためには、それぞれの流域ごとに間伐や皆伐施業の集団化、共同化が必須であり、これら施業の実施には森林組合や木材生産業者など事業者のネットワークが有効と考えます。そして、林道網を拡充して事業者が高性能機械を使った木材生産等の生産コストの低減が重要です。

(町林業懇話会長
佐藤恒悦氏

おとなり情報

～本荘由利の催物などを紹介します～

本荘市から

本荘新山神社裸まいり
本荘凧あげ大会
石脇蔵の市

と き…1月16日(日)
ところ…◇裸まいり(新山神社、7:30)
◇凧あげ大会(アクアパル、10:00)
◇蔵の市(齋彌酒造店・ビン詰め工場、10:00)
本荘市商工観光課 24-6323

鳥海町から

女性参加者募集！
ふれあいツアー in ちょうかい

と き…1月22日(土)、23日(日)
ところ…ホテル「フォレスト鳥海」
内 容…◇募集人員15人(25～45歳の独身女性)。◇集合場所に、鳥海町の男性たちがバスで迎えに行きます。ホテルではウインタースポーツを楽しむもよし、温泉でお肌を磨きをかけるもよし…。夜になったら地酒やワインを楽しみながら交流パーティーはいかがですか。

参加費…3,000円
申 込…下記の事務局へお申し込みください。追って開催要項をお送りします。
申込期限…平成17年1月14日(金)
「E-ネクスト鳥海」事務局(鳥海町企画情報課内)
TEL 57-2202 FAX 57-2076
E-mail: *_kikaku@town.chokai.akita.jp

由利町から

ゆりえもん元旦イベント

と き…1月1日(土) 10:00
ところ…ゆりの里交流センター「ゆりえもん」
内 容…◇鏡開き(10:00)
◇ちびっ子餅つき大会(10:30)
参加費…無料
ゆりの里交流センター 53-2651

仁賀保町から

実験教室

と き…1月8日(土)、9日(日) ①10:00 ②13:30
ところ…フェライト子ども科学館
内 容…◇8日「プラスチック板でオリジナルキーホルダーをつくろう」
◇9日「ベンハムのブンブンゴマをつくろう」
参加料…無料
フェライト子ども科学館 32-3150

金浦町から

子ども南極シンポジウム

と き…1月27日(木)
ところ…金浦小学校体育館
内 容…◇雪中行進(12:30) ◇基調講演(14:00、講師：毛利衛) ◇シンポジウム(15:05) ◇南極とテレビ信(15:30)
金浦町公民館 38-2049

大内町から

第18回本荘由利新春俳句大内大会

と き…1月27日(木) 10:00開会
ところ…農村環境改善センター
大内町社会教育課 65-2210

ふるさと 九一 むかしむかし

福の神と貧乏の神

むかしむかし、福の神と貧乏の神が、これから住みつく家を探すため、二人揃って方々を巡り歩いていました。

探しているうちに、二人はとも立派な門構えの家にさしかかり、中に入ってみることにしました。二人がその庭の広さに驚いていると、お庭の池のほとりに建っている大きな家の中から、泣きわめく声や怒鳴り散らす声が聞こえてきます。いったいに何が起こったのだらうと、二人が耳をすまし立っていると、「この貧乏の神！」と大きな声がするのでした。貧乏の神は、てっきり自分が呼ばれたものと思いこみ「はいはい…」と返事をしながら「福の神さんよ。おらあ、どうやらこの家からお呼びのようだ。家が決まって良かった良かった」とその立派な家に入りこんだのでした。

一方、福の神も熱心に住み込む家を探し回りましたが、「福の神」と呼んでくれる家もなく、とうとう暗くなってしまう。山の峠を越えて小さな村にやってきた福の神が、村はずれの一軒家から

もれる灯りを頼って訪ねてみると、屋根は草ぼうぼう、戸障子の代わりに藁ごもがぶらんと下がっている貧しそうな家なのでした。

福の神がそと中をのぞいてみると、細々と柴を燃やすいろり端で、爺さまと婆さまが楽しそうにしゃべっています。二人があんなり楽しそうなので、福の神が「旅の者です。どうか一晩泊めてください」と頼んだところ、「どうぞどうぞ」と軽く承知してくれたのでした。そして「このとおり食べる物も飲む物もなくはないあばら家だ…」独り言の爺さまは、外に出て枯れた木や柴を拾い集めてきて「寒いときはいろりの火が一番のご馳走よ…」と稗のお粥で福の神をもてなすのでした。

すっかり暖まった福の神は、仲の良い爺さまと婆さまに感心しながらも、貧しくて明るく笑いがら暮らす二人を不思議に思い、もう一晩泊まったら二



人の気持ちが変わるんじゃないかなうかと、もう一晩泊めてもらうことにしました。ところが、何日泊まっても爺さまと婆さまは仲がよく、毎日楽しく和やかに笑っているのでした。それに貧乏な二人の家は、福の神が住みこんでからというものが、だんだん裕福な暮らしになったということです。

一方、金持ちの立派な家は、貧乏の神が入ってからどんどん不幸が続き、かまどを返してしまったのでした。昔から、貧乏でも明るく和やかな家には福の神が住みついて裕福になると言われてきました。

菊池玉さん（遠野市）の語りより
（石渡力造）

季節を詠む

（せせらぎ句会）

山を裂き地を割り越の枯律	舟木 大庭 喜右衛門
ぎつしりと年木積まれし納屋の軒	舟打場 高橋 民治郎
友の計に風の夜を飲み直す	久保 高橋 典三
名の木枯る走り根日矢をほしいまま	横小路 宮野 源二郎
ひとり居に声掛けてみる雪囲い	小倉 遠藤 トミ子
鉦漬の夜盗となりぬ雪明り	秋田市 嵯峨 義之
芸術というべき冬の囲いかな	蔵新田 小笠原 トミ
小春日や陶のためきは酒買いに	横渡 高橋 ヒデ子
残り菜を摘めば吐息の雪催	山崎 小松 良子
霜光る中天に月煌煌と	横小路 小松 丈介
残照の枯松原や鳶紅葉	上通 小松 メサ
人はみな生きた違う夜の長き	高戸屋 小松 敏雄
南瓜食うならわし今に冬至かな	蔵新田 小笠原 亮子
腰痛の日がな一日冬囲い	中通 小松 順之助
異次元を彷徨う母の師走かな	新町 寅田 敏雄
枯落葉喪の家に吊る屋提灯	五海保 嶽石 レイ
枯葉踏む夜のほとりの里の道	時雨山 吉川 葉子
苑小春勇気をくれし優太君	蔵新田 小野 貞子
小六月和気あいあいのショッピング	上里 小野 石路子

農業委員会から

農業者年金制度のご案内



六十五歳の世帯（二人以上）に必要な老後の生活費は、月額二十三万五千円と言われています。国民年金や預貯金だけで不安を感じている方には、農業者年金をお勧めします。

農業者年金のメリット

◇長期的に安定した年金制度です。

将来の年金受給に必要な原資をあらかじめ自分で積み立て、運用実績により受給額が決まる確定拠出型年金です。加入者や普及車の数に影響されない安定した年金制度です。

◇農業従事者は、広く加入できます。

国民年金の第一号被保険者で、年間六十日以上農業に従事する六十歳未満の人は誰でも加入できます。農地を持っていない農業者や配偶者、後継者などの家族従事者も加入できます。脱退一時金は支給されませ

んが、加入期間に関わらず、それまでに支払った保険料は、将来年金として受け取れます。

◇保険料の額は自由に決められます。

毎月の保険料は三万円を基本に最高六万七千円まで千円単位で自由に決められます。経済的な状況や老後設計に応じて、いつでも見直すことができます。

◇80歳までの保証が付いた終身年金です。

年金は亡くなるまで受け取れますが、仮に加入者や受給者が八十歳になる前に亡くなった場合でも、死亡した翌月から八十歳までに受け取るはずの年金（老齢年金）を予定利率で割り戻した額を、死亡一時金として遺族が受け取れます。

◇税制の優遇措置を利用した節税効果があります。

農業者年金の保険料は全額（最高年額八十万四千円）、所得税の社会保険料控除の対象となり、所得額が増えるほど大きな節税効果があります。また、支払われる年金にも公的年金等控除が適用されます。

◇意欲のある担い手には政策支援があります。

認定農業者など一定の要件を満たす農業者には、保険料の一部を助成する政策支援があります。

※詳しい内容や加入の申込みについては、農業委員会（69-2197）または、JAの窓口までお問い合わせください。

アイドルをさがせ!

小林 りなちゃん
(黒瀬・1歳)
お父さん: 浩三さん
お母さん: 結香さん
お話し: 結香さん

名前の由来は?

「女の子らしくて、かわいらしい名前にしようと思い、『りな』にしました」

好きなものは?

「音楽が好きで、曲が流れると体を揺らしています」

最近のエピソードは?

「おじいちゃんとおばあちゃんにもらった、音楽が流れるクリスマスツリーがお気に入り、鳴らしてあげると喜んでます」

本人の性格は?

「甘えん坊さんです。お兄ちゃんが遊んでいる所に邪魔して、パパを横取りしています」

どんなふうに育ててほしいですか?

「優しく、思いやりのある子になってほしいです」

お父さんとお母さんから、りなちゃんへひとこと

「絶対に嫁には行かせませんから! 残念!! (父) 早く大きくなって楽させてください (母)」

YG・ジェネレーション

高橋 美佳さん (松柴・20歳)

一職業は

ぶれっそのAコープで働いています。

一休日の過ごし方は

歌が好きなので、友だちや彼氏とカラオケに行きます。あとはドライブも好きですね。県外に出掛けることも多いです。最近は山形に行きました。

一自分の性格は

どんなときでもマイペース。小さいことはあまり気にならない性格です。友だちには落ち着いていると言われます。

一理想のタイプは

優しい人。一緒にいて気楽な人が良いですね。

一目標・夢は

お金を貯めて、いろんな所に旅行することです。

一友だちへ一言

20歳になったら、みんなでいっぱい飲みに行こうね。

データ東由利

住民基本台帳

	11月末人口	前月比
男(人)	2,296	－ 6
女(人)	2,457	－ 1
計(人)	4,753	－ 7
世帯数(戸)	1,369	2

	11月異動人数	1月からの累計
出生(人)	3	19
死亡(人)	5	78
転入(人)	5	65
転出(人)	11	87

消防・交通

	10月発生数	1月からの累計
火災出動(件)	0	3
救急出動(件)	18	140
交通事故(件)	5	20
死亡(人)	0	2
傷者(人)	3	12
飲酒運転(件)	0	1
酒気帯び(件)	2	5

1月の行事予定

- 3日 成人式
- 4日 役場仕事始め
出初め式
- 5日 新春町政座談会
(住吉分館 住吉館9:30)
(蔵分館 大蔵館13:30)
- 6日 新春町政座談会
(玉米分館 玉米会館9:30)
(老方分館 老方館13:30)
- 7日 新春町政座談会
(法内分館 克雪管理センター13:30)
わくわくサークル(理科教室)
高橋宏幸賞童話コンクール作品展示(ジョイフルシティ・～16日)
- 9日 新春町政座談会
(宿分館 高瀬館13:30)
郡市スポ少交流会スキー競技(兼)郡市中学校スキー大会
- 10日 成人の日
- 12日 2歳児健診
青年バレーボールリーグ開幕(～3月上旬)
- 13日 機能訓練教室
- 14日 小中学校始業式
- 18日 乳児健診
食生活改善講習会
- 20日 ナイタースキー教室(～28日)
- 25日 ことぶき大学(県庁出前講座ほか)
- 27日 機能訓練教室
- 30日 町民スポーツ祭バタック大会

東由利

郷土の野草

NO.239

カラスウリ

ウリ科

文・写真 小松忠正氏

原野、山裾、人家近くの古びた小屋(写真・宮ノ前)などに自生するツル性の多年草で、太い根から地上茎を伸ばします。雌雄異株で、雄花は葉脈から白い糸のような美しい五弁花数個をつけます。雌花は葉脈から1個の花をつけますが、花の多くは夕方から夜に開花し、朝にはしぼみます。果実は8月ころは写真のような緑色をしています。10月頃は赤く熟します。ここではカラスマンコなどといい、赤く熟した果実の汁をしもやけにつけると良いと言われています。



●ご結婚おめでとう
12/2 遠藤 明子さん(中国磐石市)

●お誕生おめでとう
11/23 浅井 陽奈ちゃん(明美) 蔵新田

戸籍の窓口

(11月21日～12月20日届出)

●ごめい福をお祈りいたします
11/30 大場吉一郎さん(73) ミネ・夫・山崎
12/3 寅田 キミさん(82) 敏雄・母・新町
12/5 佐々木直義さん(95) 隆義・父・大琴
12/13 小松 キヤさん(84) 昇・母・田代
12/15 石渡マツノさん(94) 力造・母・蔵新田
12/19 佐藤 忠さん(62) ミエ子・夫・祝沢
12/20 大場ハツエさん(100) 惣七・祖母・久保

新市の市章が決まりました

新市の市章は、全国から寄せられた2,262点の中から市町長会議で最終選定され、12月23日に開催された第21回合併協議会で発表されました。(右上)

由利本荘市の「由」と「本」の字体を合体させ、由とも本ともとれるデザインが全体のモチーフ。ユリの花、ユリの根、ごてんまりをベースに、躍動感が表現されています。(※複写のため実際の色とは多少異なります)



おれ
(11月21日～12月20日)
広報送付謝礼として次の方から金一封をいただきました。
大塚紀志子さん(東京都、中村松夫さん(本荘市)、在京宿小会
社会福祉協議会に次の方から芳志が寄せられましたのでご紹介しします。
佐々木隆義さん(大琴)



ほっとひといき

明けましておめでとうございます。私がこのほっとひといきを書いているのは16年12月21日。締切に追われ朦朧とするあまり、「ほっとひといきが年賀状だったらなあ～」なんてことを考え出す始末です。でも冗談は抜きにして、今年もいろいろな出会いに恵まれ、充実した一年を過ごすことができました。そして、私を支えてくださった皆さんに感謝です！
それでは、2005年も皆さんにとって良い一年になりますように。(晃)